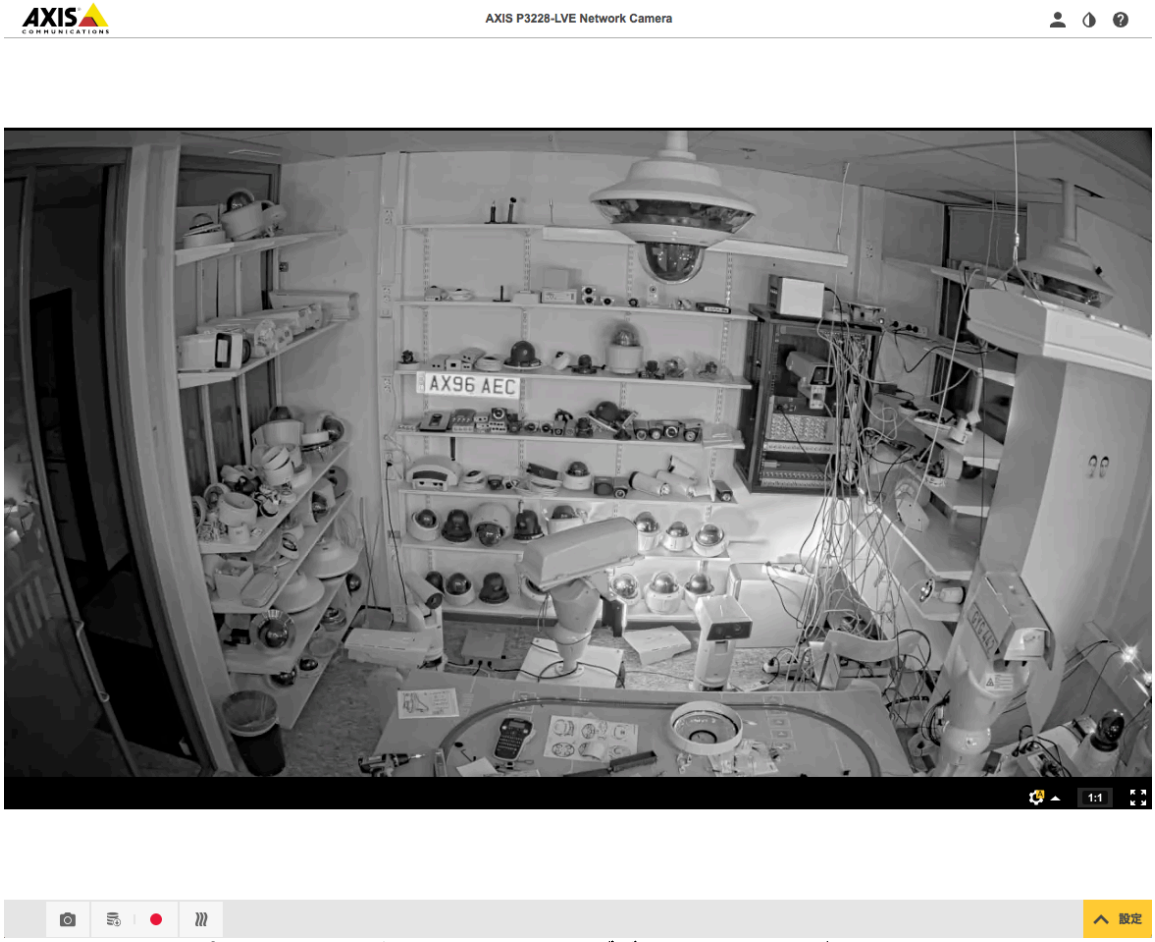
ファームウェア 7.10 以降の新しい Web インターフェースについて

1. はじめに

本文書は、ファームウェア 7.10 以降の AXIS ネットワークビデオ製品（以下、製品）で採用されている直感的に使える新しい Web インターフェースについて、概観や基本的な操作方法を記載したものです。尚、ファームウェア 8.40 をもとに記述しておりますので、バージョンにより異なる点がございますことを予めご留意ください。



新しい Web インターフェースのライブビュー画面イメージ

2. 新しい Web インターフェースの概観とブラウザーサポート

新しい Web インターフェースは、従来の Active X ベースのインターフェースから、全体的に改善および、単純化されたグラフィカルユーザーインターフェースへ移行したことにより、プラットフォーム（OS やブラウザーなど）への環境依存が少なくなり、扱い易い Web インターフェースとなっています。また、Chrome™および Firefox®ブラウザーでテストされ、これらのブラウザー向けに最適化されています。他のブラウザーを使用している場合は、機能性とサポートが制限されることがあります。

ハイライト：
- 推奨ブラウザー: 最新の Chrome™および Firefox®
- サポートされるブラウザー: 最新の Chrome™、Firefox®、Edge®および Safari®
- プラットフォームに依存せず、最新の Linux、OS X、および Windows 7 から Windows 10 で動作
- タブレットおよびモバイルデバイスのサポート
- 12 の言語をインストール済み、言語の自動検出

既知の制限：
- Microsoft Edge™: H.264 のストリーミング時にビデオが 1 秒遅延
- Safari®: Apple モバイル （iOS） デバイスでは、H.264 ビデオストリーミングはサポートされません
- 音声:ブラウザー （コンピューターマイク経由） を使用した、カメラへの音声の送信はサポートされません

尚、ブラウザーサポートについての詳細および、最新の情報は、www.axis.com のブラウザーサポートのページを参照してください。
http://www.axis.com/ja-jp/support/technical-notes/browser-support

3. 新しい Web インターフェース へのアクセスと初期設定

ブラウザーの URL に製品の IP アドレスを入力します。初期設定にあたっては、DHCP 環境で行う事を推奨します。製品は初期状態で DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得します。各製品の IP アドレスを確認するには AXIS IP Utility（IP ユーティリティ）ソフトウェアをお使いいただくと便利です。
尚、DHCP 環境がない場合、製品の初期 IP アドレスは、192.168.0.90 となります。

製品にアクセスすると初期設定画面が表示されます

- デフォルトの管理者ユーザー「root」 のパスワードを設定します
  ※半角英数、大文字/小文字と記号を使用して強固なパスワードを設定してください。
- 設定画面で使用する言語を選択します（日本語の場合は、日本語を選択）
- 「開発者とデータを共有する」の項目において、プライバシーポリシー （詳細情報） をご確認の上、同意される場合はチェックを入れ、同意されない場合はチェックを外してください

「ログインの作成」を押すと認証画面が表示されます

- ユーザー名に root、パスワードに先ほど設定したパスワードを入力します

主な設定項目のウィザードが開始されます

- 製品を使用する地域に合わせて「電源周波数」を選択します（東日本：50Hz、西日本：60Hz）
- 「キャプチャーモード」を選択します （WDR モードの有無や使用する最大解像度、フレームレートなどの要件に合わせて選択）
- 「PTZ モード」は、デジタル PTZ または、PTZ ドライバー （オプションのパンチルトモーターへ製品を接続して使用する場合）を選択します

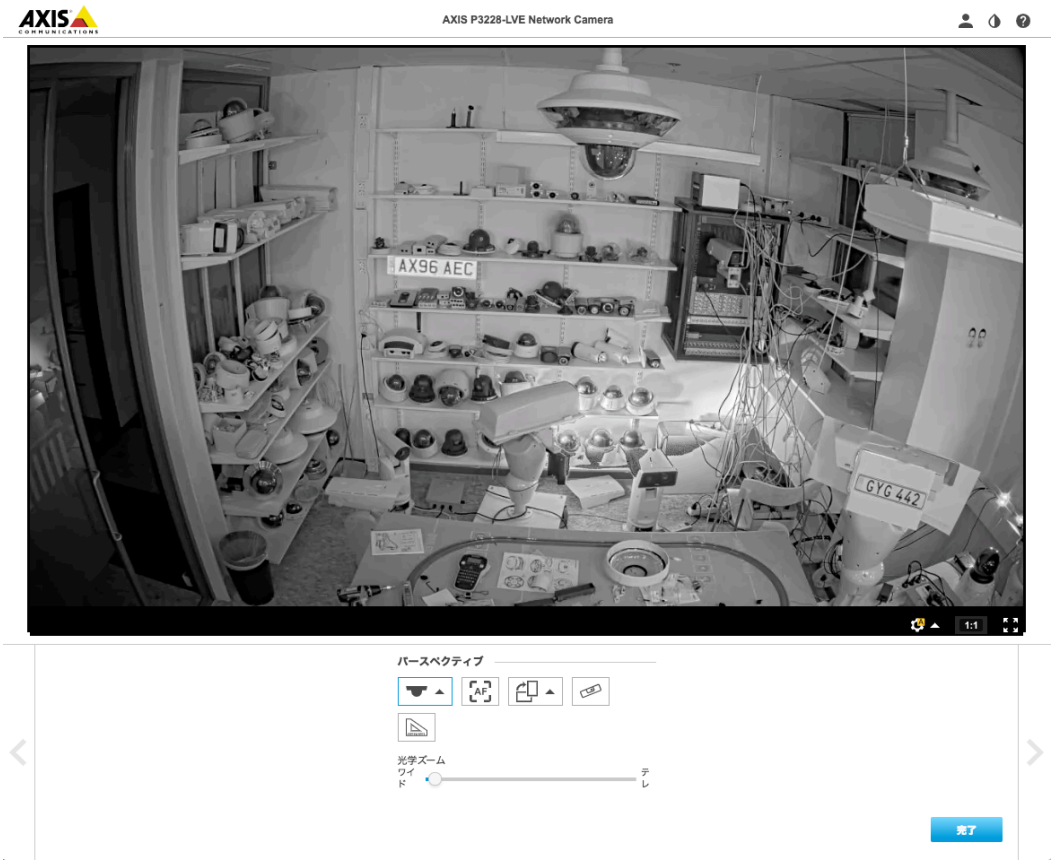
製品のネットワーク設定（IP アドレスなど）および、時刻とタイムゾーンを設定します

- 製品を設置するネットワーク環境に合わせて、ネットワーク設定 （DHCP 自動取得設定や IP アド

レス、サブネットマスク、デフォルトルーターを手動で設定など） を行います （DNS サーバーのアドレス設定なども必要に応じて行います）

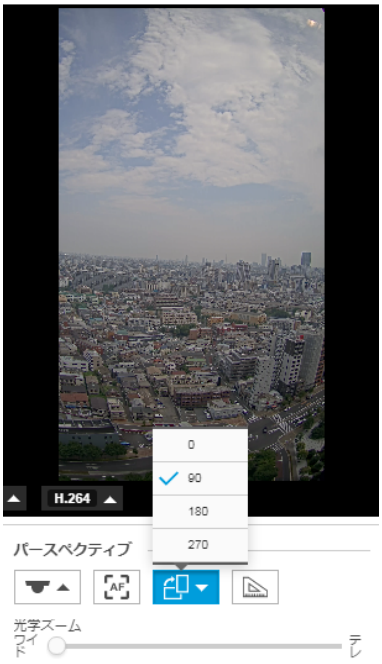
- 製品の時刻を設定します （日本の場合、タイムゾーンは「GMT+09(大阪、札幌、東京、ソウル)」を選択）
  ※安定した NTP サーバー（VMS や NVR も含む）との時刻同期を行う設定を推奨します。（SD カードや NAS ストレージへ録画を行う場合、製品の時刻情報が録画データ上の時刻となりますので、ご注意ください）

ライブ映像が表示され、映像の基本設定（機種により項目が異なります）を行います

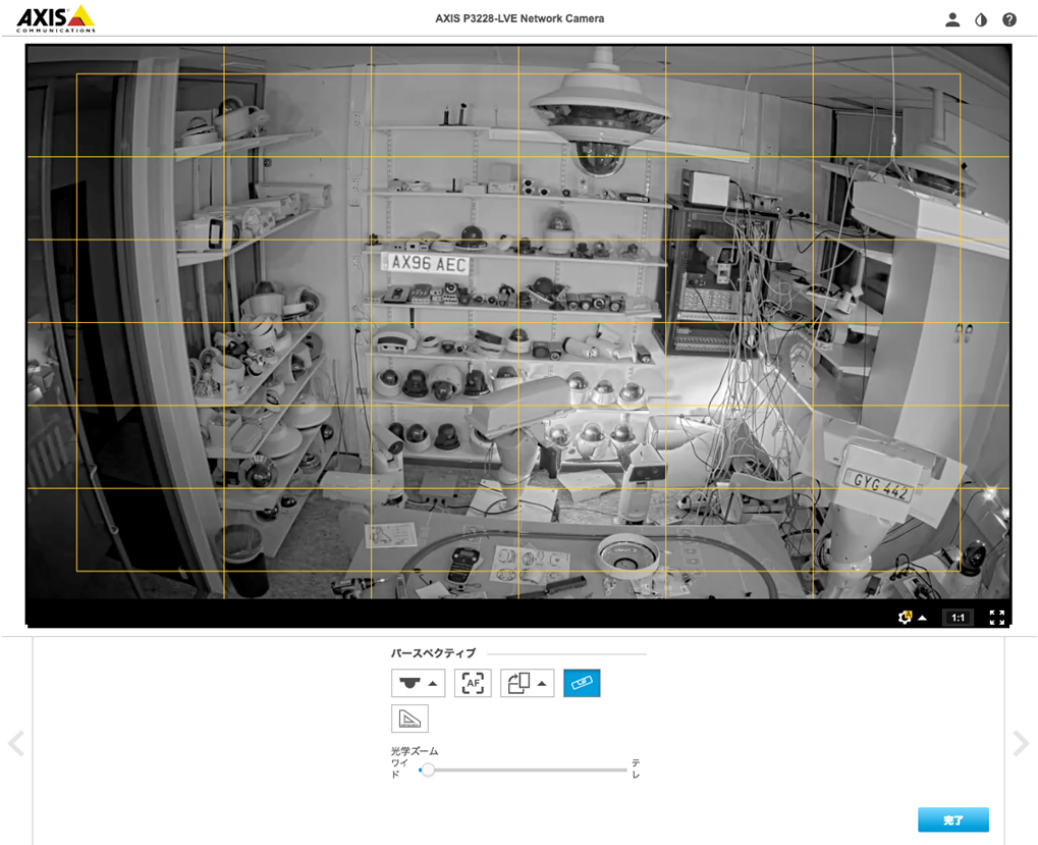


＜リモートフォーカス・リモートズーム機能を有する固定ドーム型カメラの例＞

- 「設置位置」は、設置方法（天井や壁など）に応じて選択します（設定に応じてカメラの映像が自動的に上下反転します）
- 「AF」（オートフォーカス）ボタンを押すと、自動でフォーカスの調整が行われます



- 「画像の回転」は、映像の上下反転（0°もしくは、180°）やコリドールフォーマット（90°もしくは、270°） の設定を行います （コリドールフォーマットは、カメラ本体または、レンズユニットも物理的に 90° 回転させます）



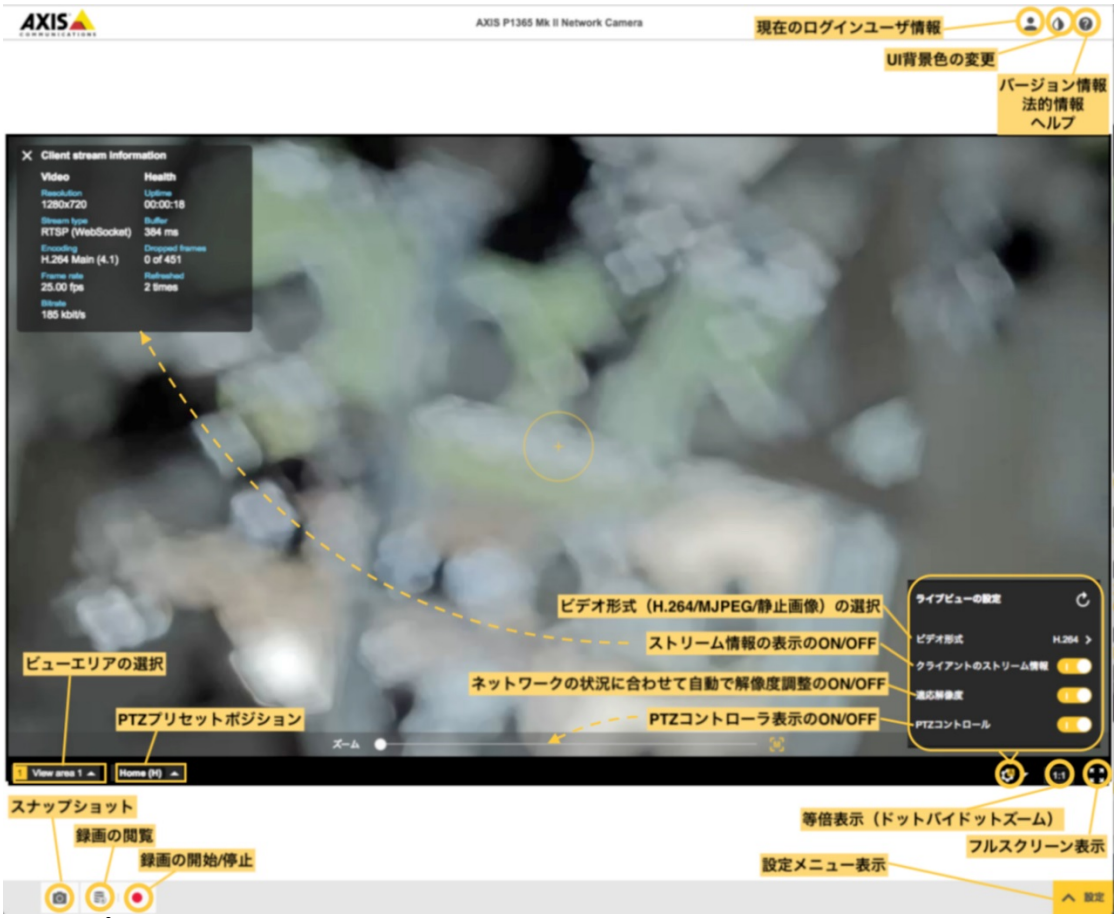
- 「レベルガイド」は、カメラの撮影位置を調整するための補助線（グリッド）を表示します
- 「ピクセルカウンター」は、対象物が撮影ピクセル要件を満たすかを確認できます
- 「光学ズーム」は、リモートズーム機能を有するカメラのズーム調整ができます

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2018 年 11 月現在のものです。

以上で、初期設定は完了です。（機種により、項目が異なることがありますので、詳しくは、製品のドキュメントやヘルプをご確認ください）

4. 新しい Web インターフェースのライブビュー画面の構成

ライブビュー画面では、カメラのライブビュー閲覧以外に、基本操作として以下の操作が行えます。



- スナップショット （JPEG）の撮影
- 録画映像の閲覧（録画先：SD カードまたは、NAS ストレージ）
- 手動録画（録画先：SD カードまたは、NAS ストレージ）
- 表示するビューエリアの選択（ビューエリア設定時のみ）
- 表示するビデオエンコード方式の選択（H.264／Motion JPEG／静止画像）
- PTZ コントロール、プリセットポジションへの移動（プリセットポジション設定時のみ）
- 設定メニューの表示

機種によっては、以下のような操作も行えます。

- ファンの手動駆動（ケーシング内部の空気を循環させドームの曇りを低減します）
- ヒーターの手動駆動（ケーシング内部を暖めドームの曇りを低減します）
- スピードドライ機能の手動駆動（ドーム上の水滴を素早く振り落とし視認性を向上させます）

また、バージョン情報から、製品のシリアル番号や適用されているファームウェアのバージョンが確認できます。

5. 新しい Web インターフェースによる製品の設定変更

「設定」タブをプルアップして設定メニューを表示し、設定項目ごとに以下のような設定が行えます。

画像：
画質、フォーカス調整、WDR、ホワイトバランス、デイナイト機能、露出、キャプチャーモードなどの設定が行えます

ストリーム：
解像度、フレームレート、H.264 (Zipstream 含む)、画像の回転、画像の左右反転、音声付きビデオストリーム機能などの設定が行えます

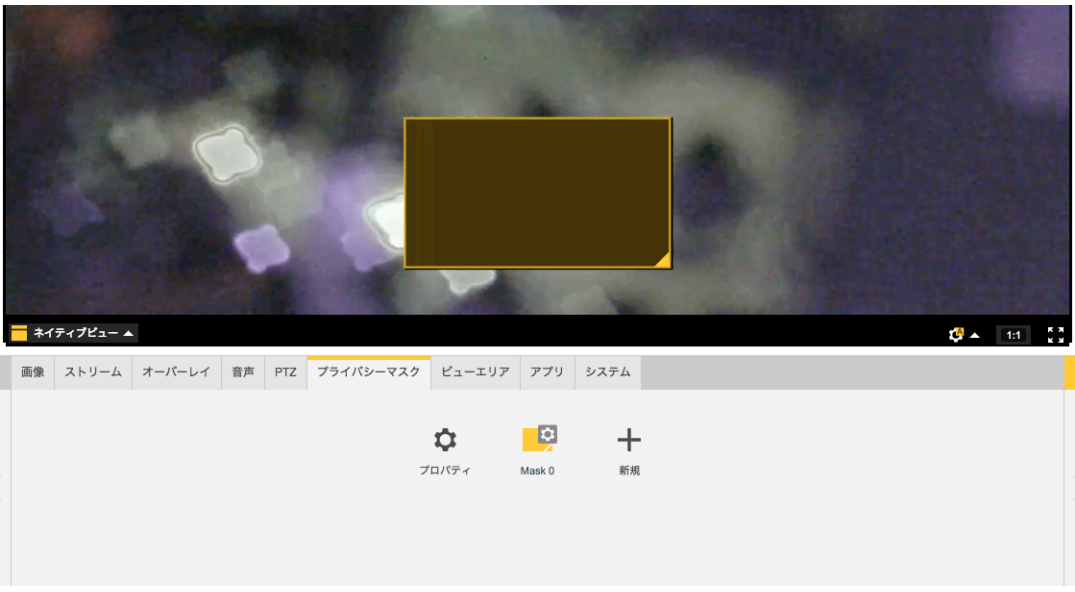
オーバーレイ：
画像上に任意のテキスト情報や製品の時刻情報などを表示するテキストオーバーレイと画像オーバーレイの設定が行えます（本設定を行う際は、適応解像度を OFF にします）

ファームウェア 7.10 以降の新しい Web インターフェースについて

音声：
音声の ON／OFF、ゲイン調整などの設定が行えます

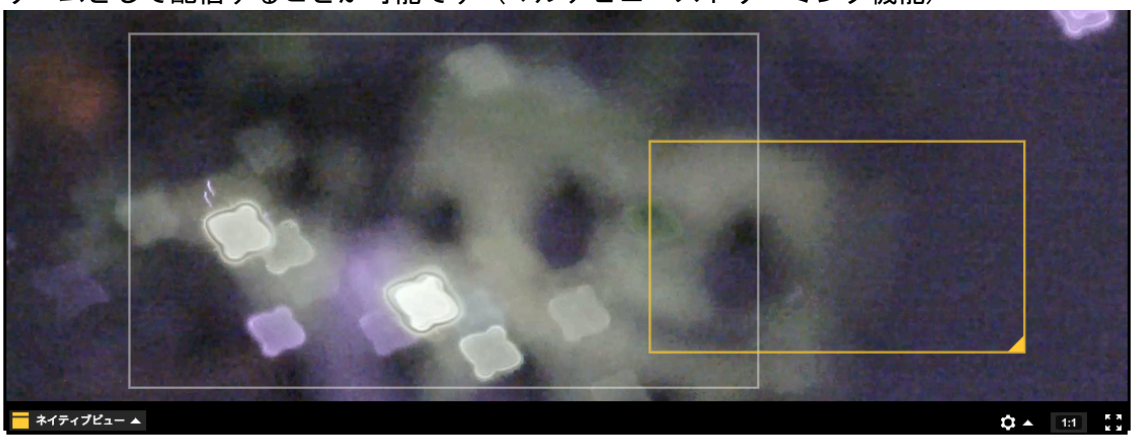
PTZ：
光学式ズームを搭載した PTZ カメラおよび、固定カメラのデジタル PTZ 機能におけるプリセットポジション、ガードツアー、ゲートキーパーおよび、オートトラッキングなどの設定が行えます

プライバシーマスク：
プライバシーマスクの追加／削除などの設定が行えます

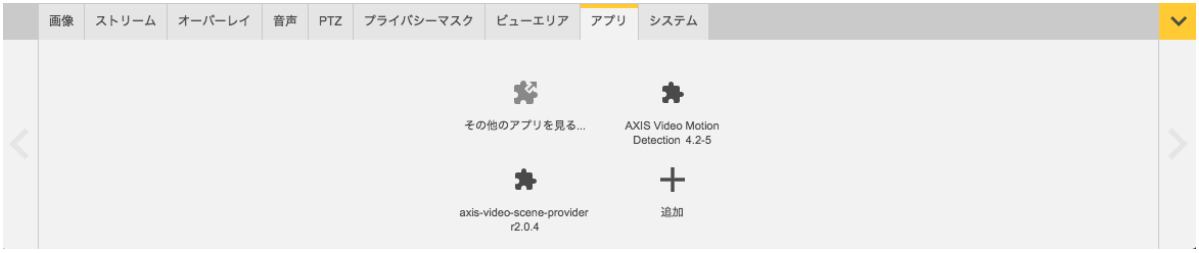


ファームウェア 7.10 以降の新しい Web インターフェースについて

ビューエリア：
固定カメラでのビューエリアおよび、デジタル PTZ 機能を設定が行えます（ビューエリアは、全体画像から一部を切り出して作る個別のビューで、各ビューエリアでは解像度および、デジタル PTZ 機能の ON／OFF を設定します）
※HDTV 1080p 以上の解像度の対応機種などでは、複数のビューエリアを設定でき、それぞれ個別のビデオストリームとして配信することが可能です（マルチビューストリーミング機能）



アプリ：
AXIS Camera Application Platform（ACAP）アプリケーションのインストールや設定などが行えます
※ほとんどの製品で、AXIS Video Motion Detection（無料の動体検知アプリケーション）が標準でインストールされています。



システム：
製品の詳細な設定やメンテナンス操作などが行えます

※AVHS サービスは日本では提供していません

主な設定項目

- **TCP/IP：** ネットワーク設定（IP アドレスなど）
- **ONVIF：** ONVIF 関連の設定（有効化、ONVIF ユーザーと ONVIF Media Profile の追加／編集など）
- **向き：** カメラの設置方法に応じた設置位置（天井、壁など）の設定
- **イベント：** 様々なトリガー（接点入力、動体検知など）を使用したアクションルールの設定
- **ストレージ：** 録画先エッジストレージ（SD カードまたは NAS ストレージ）の設定
- **セキュリティ：** 証明書のインポート、IEEE802.1x 認証および、HTTP／HTTPS の設定
- **ユーザー：** ユーザー管理および、匿名ユーザーアクセスの設定
- **検知器：** 各種検知機能（音声検知、衝撃検知、いたずら検知など）の設定
- **メンテナンス：** 製品の再起動、リストア（ネットワーク設定を残した初期化）、デフォルト（工場出荷状態への初期化）、レンズのキャリブレーション（光学部品の工場出荷状態への初期化）、PTZ テストの実行および、技術サポートに必要な製品のログ（サーバーレポート）の取得
- **プレイン設定：** 通常は変更が不要な製品の詳細なパラメータ（設定値）の変更
  ※プレイン設定は、誤って操作すると製品の正常な動作に影響を及ぼす場合がありますので、製品の設定の経験のある上級ユーザーの方のみ、または Axis のサポートからの指示があった場合のみ行ってください。

以上

付録. 旧 Web インターフェースへのアクセス

ファームウェア 7.10 以降の製品にて、以下のアドレスをブラウザーで直接指定していただきますと、旧 Web インターフェースへアクセスできます。

http://製品の IP アドレス/index.shtml

※旧 Web インターフェースは、完全な動作保証が取られておらず、将来的に製品から削除される予定ですので、通常は、新しい Web インターフェースを使用してください。

旧 Web インターフェースのライブビュー画面が表示されます

旧 Web インターフェースのライブビュー画面イメージ

旧 Web インターフェースでは、Internet Explorer 11 および、最新の AXIS Media Control（プラグインソフトウェア）が必要です。詳しくは、前述のブラウザーサポートのページ（「ファームウェア 6.50 以下」）を参照してください。

新しい Web インターフェースでは、AXIS Dynamic DNS サービスの設定は行えません。旧 Web インターフェースにて設定が行えますが、サイバーセキュリティの観点から Dynamic DNS によるインターネットを介したリモート接続を推奨しておらず、将来的に AXIS Dynamic DNS サービスの終了を予定しており、AXIS Companion や AXIS Camera Station でのセキュアなリモート接続を提供する AXIS Remote Access Solution のご利用やサードパーティー製のリモートアクセスソリューション、各種 VPN サービス／ソリューションのご利用を推奨しています。
※AXIS Dynamic DNS サービスは、SLA やサポートの提供のない無料のサービスとなっており、予告なくメンテナンス（サービス停止）等を実施する場合があります。